

高校生のための街なかオープンカレッジ 2013 in 柳ヶ瀬

大学で学ぶことは何なの？ 大学の先に、社会や地域で何が待っているの！ 学生や市民も参加…8月10日

高校生の皆さんは、受験や進学に向けて、どのような大学や学部で学びたいのか、いろいろと考えていることと思います。

岐阜経済大学・岐阜大学地域科学部・岐阜市立女子短期大学が共同で開催するオープンカレッジは、こんなことを皆さんに伝えたいと思っています。

■多彩な分野から学べる：経済学・経営学、まちづくり・自治・環境・文化・社会、デザイン・ファッション

まちづくり、デザインなどのテーマを取り上げ、いろいろな分野からの見方と話し合いを通じて、高校までとは違う大学での学び方について、実際に体験してもらいたいと思っています。

■大学から、就職、社会や地域に開かれていくために

大学で学ぶその先に何があるのかも想像してみませんか。企業や市民の皆さん、若者定着などを図ろうとしている行政とも連携して、岐阜市の街なかで地域に開かれたオープンカレッジを行います。



午前の部：10時～12時

① デパートの誕生 （内田 勝・岐阜大学地域科学部）

19世紀半ばのパリで、オスマンの都市計画とともに、世界で初めて登場したデパート。小説家ゾラの「ボヌール・デ・ダム百貨店」に描かれた世界は、今の消費文化の先駆けです。柳ヶ瀬と比べてみませんか。

② 市岐商デパート

岐阜市立岐商商業高校伝統の生徒が行う「市岐商デパート」の活動紹介です。

③ まちでつくるビル （大前貴裕・岐阜市商店街活性化プロデューサー、

ミュキデザイン・一級建築士事務所、まちでつくるビルの皆さん）

「チャンスも刺激も、面白いことはいつだってまちにある。」古くから、ものが集まり、作り、売られてきた美殿町商店街で、デザイナー、建築家、エディター、イラストレーターなど様々な業種のつくる人たちが集まり『これからのつくる』場をつくっています。

④ 地域と学生をつなぐ

岐阜周辺の大学生が集まるフリーペーパー「GIFT」、岐阜経済大学マイスター倶楽部、岐阜市立女子短期大学などの学生が、地域との関わりについて、高校生の皆さんと一緒に本音で語ってみます。

午後の部：13時～15時

⑤ 柳ヶ瀬・美殿町のまちあるきとワークショップ

（柳田良造・岐阜市立女子短期大学、富樫幸一・岐阜大学地域科学部）

実際に柳ヶ瀬周辺を見て歩き、美殿町の「まちでつくるビル」を訪れて、関係した皆さんの話をうかがい、その後でまとめのワークショップをします。

□会場：柳ヶ瀬あい愛ステーション

一般財団法人岐阜市にぎわいまち公社

（岐阜市柳ヶ瀬通 2-17、Tel.058-216-0371）



地域連携、高校・大学連携のパネル展示を、

同じ会場で行います（8月5日（月）～20日（火））

□申し込み・問い合わせ先：岐阜大学地域科学部

当日、参加自由です。なお、整理の都合上、事前にお申し込み頂けると幸いです。7月1日～8月2日まで、郵送、FAX、e-mail のいずれでも可で、個人でも、高校でまとめてご連絡頂いても結構です。

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学地域科学部

代表：TEL 058-293-3002 FAX 058-293-3008

chiiki@gifu-u.ac.jp

申し込み用紙 （8月10日の街なかオープンカレッジに参加します）

_____	高校	_____	学年
氏名			